

臨時農業生産情報

(暴風雪及び大雪に対する技術対策)

令和3年1月6日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表（令和3年1月6日07時09分）の「暴風雪と高波及び大雪に関する青森県気象情報 第3号」によると、7日から8日にかけて低気圧が急速に発達しながら日本海から千島近海へ進み、その後冬型の気圧配置が強まるため、津軽を中心に大荒れとなり、青森県では大雪となる所がある見込みです。

今後の気象情報に十分留意し、被害の未然防止、軽減及び拡大防止に努めてください。

【事前対策】

1 野菜・花き等のハウス

- (1) 冬期間利用しないハウスは、できるだけビニールを外しておく。
- (2) 倒壊したり被覆資材が飛散しないようハウスの点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (3) 野菜・花き等を栽培しているハウスでは、ハウス内を密閉し、保温資材で保護するなど温度管理に十分注意する。
- (4) ハウスの倒壊を防ぐため、ハウスに積もった雪は早めに下ろす。また、ハウス内を暖房して融雪を促し、落雪を容易にする。

2 りんご等果樹

- (1) 大雪の際は、雪が新しいうちに、樹上の雪下ろしや雪に埋もれた枝先を抜き上げる。

3 畜産

- (1) ロールペールサイレージは、ストレッチフィルムの破損を防ぐため、シート等で覆う。
- (2) 畜舎等は、破損を防ぐため支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。

【事後対策】

1 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウス側面に積もった雪は、速やかに除排雪する。
- (2) ハウスが倒壊または破損した場合は、速やかにパイプの修復・補強やビニール等の張り替えを行い、保温に努め、農業共済に加入しているハウスについては、損害評価を受けるなど農業共済組合と連携を密にして早期の復旧に努める。
- (3) 寒締めほうれんそうなど収穫できる作物は、速やかに収穫する。

2 りんご等果樹

- (1) 枝が折れている場合は、折れている部分まで切り戻し、傷口が広がらないようにする。
- (2) 主枝が裂開し修復可能な場合は、支柱等で固定し、傷口が広がらないようにするとともに、枝の量を減らし、負担を軽くする。

3 畜産

- (1) 積雪による畜舎等の倒壊を防ぐため、屋根の雪下ろしを行う。
- (2) フィルム製の屋根材を使用している堆肥舎等については、施設側面の除排雪を行う。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 高橋 宗壽 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 磯辺 慶 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 山田 健司
電話番号	(野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5092 (畜産) 直通 017-734-9496 内線 4814
報道監	農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 赤平 次郎(内線:4967)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。